



謹賀新年 今年もよろしくお願いたします



和田コミュニティセンターに鯨のトリックアート！

和田コミュニティセンターの壁面に巨大な鯨が出現しました。「和田町らしい鯨の絵で、町の活性化、にぎわい創出に繋がれば」と和田町柴出身の野山一巳さんより「壁画トリックアート」寄贈の申し出を受け、この度実現したものです。

トリックアートは、目の錯覚を利用し、絵が立体的に見えたり、角度により印象が変化するなど、不思議で楽しいアートです。

幅5.6m、高さ5.8mに及ぶ巨大なトリックアートは、シロナガスクジラの骨格標本とともに、新たな和田町の人気スポットとして今後、注目されそうです。



第9回
安房落語会

わだうら寄席

日時：令和7年2月22日(土)
午後2時開演(4時終演予定)

会場：和田コミュニティセンター 3階市民ホール

内容：キッズ落語、春に相応しい落語、房州講談「苦止楽納門 完結編」、
講談「南総里見八犬伝」連続公演

木戸銭：大人の方のみ、お帰りの際お気持ちをいただきます。(高校生まで無料)

予約申込：090-1555-5031(ながしま)

主催：南房総三龍亭

※その他イベント情報は、南房総三龍亭公式LINEをご覧ください↑



親の会「だいじょうぶ」

日時：令和7年2月23日(日)
午前11時～午後1時30分

場所：南総学舎
(南房総市山田831番地)

対象：学校が苦手な子の保護者

内容：気功でリフレッシュ
交流ランチ会

参加費：お弁当代(実費)



問合せ・申込み
公式LINEより➡



なごみうたごえ仲間

栗山貴成・洋子夫妻の伴奏で楽しく歌いましょう♪

日時：令和7年1月19日(日)
午後1時30分～3時

場所：和田コミュニティセンター1階喫茶室
問合せ先：080-5545-8315(岡田)

※事前予約は不要

参加費：200円(飲み物は各自でご持参下さい)

花嫁街道・烏場山トレイルラン2025

日時：令和7年1月25日(土)
午前11時スタート

スタート～ゴール会場：花の広場公園
「花夢花夢」



とうしろ台城・三原城・三原城山城

城跡ステッカー新たに作成、販売中

歴史の郷へ応援団三原では、郷土の伝承や史跡を市内外に伝えるツールとして、三原郷の三城の「城跡ステッカー」を制作しました。南房総市観光協会の販売後援を受け、すでに販売されている三城の御城印と共に、市内道の駅で12月より販売が開始されています。

作成したステッカーには、三城それぞれにまつわる伝説が添えられており、デザインもその伝説に基づいたものとなっています。

当初、このステッカーは、とうしろ台城里山プロジェクトの城跡整備活動のボランティアステッカーとして作成し、活動支援者へのお礼や近隣の子ども達に配布していましたが、好評だった事から新たに追加で作成することになりました。

代表の鈴木玉枝さんは、「ステッカーは、防水加工ですので、パソコン、タブレット、スマホ、車などに貼り、身近に三原郷の歴史を楽しんでいただけたら嬉しいです。」とお話されていました。



入賞作品展示中

令和6年度「花」と「くじら」
絵画コンクールの入賞作品
(レプリカ)56点が、和田コ
ミュニティセンター1階ロビー
に展示中です。

皆さんの力作を
どうぞ、ご覧ください。



申込多数！お飾り作り教室

公民館主催の「正月お飾りづくり教室」が和田コミュニティセンターで、12月19日(木)と20日(金)に開催されました。

柴区の前田康夫さんを講師とするこの講座は、大変人気があり、今回も定員24名に対し、3倍近くの申込みがあったため、抽選により参加者が決まりました。

縄をなう工程では、参加者の多くが苦戦しており、原田さんはその都度、ひとりひとりに丁寧に指導していました。参加した方は「初めて縄ないをしたけど、すごく難しかった。先生に教わりコツを掴めた。お陰で素敵なお飾りが出来ました！」と嬉しそうでした。



ほのぼの クリスマス会開催

南房総市子ども家庭支援室「ほのぼの」主催のクリスマス会が12月20日(金)に和田コミュニティセンターで開催されました。

市内の0歳から就園前の子どもとその保護者、約20組が参加し、親子で一緒に歌ったり、踊ったり、少し早いクリスマスの雰囲気を楽しみました。

また職員によるハンドベル演奏では、美しい音色に皆さん聞き入っており、演奏後には大きな拍手が沸き起こっていました。



サンタさんからのプレゼントもありました！

防災訓練を実施



防火管理者である正木所長指揮の下、和田地域センター職員及び道の駅和田浦WA・O！で働く職員を対象に、防災(消火)訓練が実施されました。

消火器の取り扱い方法の説明を受けた後、訓練用の水消火器を使い、火元的的に向かって放水訓練を行いました。参加者の中には、初めて消火器を使用した方もおり、貴重な体験となりました。

